

## ●その他

薬を嫌がるのですが、飲ませ方の工夫を教えてください。

普段の食事に混ぜない方が良いでしょう。理由は味が変わってしまって、その食品がおいしくなくなる経験をしてしまうからです。粉薬なら、少量の水で薬を練ってほっぺの内側に貼り付けたり、スプーンに乗せたりして、与えてみてください。

嗜好品のゼリーに混ぜるのも有効のようです。薬剤師に相談してみてください。

食事の基準量がわからず、太っていないか気になっています。

テキストはあくまでも目安です。お子さんによって、生まれた体重も違いますし、環境も違いますので、他の子と比べたりせず、元気に遊んで食べられていれば良いです。その際、発育曲線がその子なりに伸びていれば心配ないです。ハイハイしたり歩くようになると体重が減ってきたりします。

離乳食をはじめたいのですが、食物アレルギーが気になります。どうしたらいいですか？

離乳食において、食物アレルギーの発症を心配しているようならば、離乳の開始や特定の食物の摂取開始を遅らせても、食物アレルギーの予防効果があるという科学的根拠がないので、生後5～6か月頃から離乳食をはじめないようにしましょう。

※子どもに湿疹がある場合やすでに食物アレルギーの診断されている場合、離乳食後に発症した場合は、必要に応じて、医師に相談しましょう。